

茨城県立歴史館の学習支援事業（出前講座）テーマ一覧〈令和2年度版〉

当館では小・中学校および高等学校を対象にした学習支援事業(出前講座)を実施しています。

講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。社会科の授業はもちろん、総合的な学習の時間などにおいても、ぜひ積極的にご活用ください。

	タイトル・テーマ名	具体的な内容
1	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉づくりを体験します。 ※材料費（1個 300円）がかかります。
2	ちょっと昔の暮らし	昔使われていた道具の体験ができます。小学3年生の授業に最適です。
3	茨城の偉人	茨城県ゆかりの郷土の偉人について楽しく解説します。郷土教育、総合的な学習の時間に最適です。小学4年生から中学生対象です。
4	はにわの世界	焼き物である「はにわ」を通して、古墳が作られた時代について解説します。
5	火おこし体験	古代の食生活についての話と調理にかかせない火おこしの体験をします。小学校高学年～中学生向けの内容です
6	縄文の人々の暮らし	縄文時代の出土資料（土器・石器など）にふれながら、縄文の人々の暮らしについて解説します。(8月～12月をのぞく)
7	常陸戦国史のはじまり —古河公方と常陸—	享徳の大乱以降、東国は西国に先んじて戦国時代に突入します。この時期の常陸佐竹氏、小田氏などの動きを古河公方の支配と絡めながら解説します。 高校生向けの内容です。
8	常陸における南北朝の動乱	瓜連合戦や北畠親房の経営など、常陸における南北朝時代について資料をたどり解説します。
9	石に刻まれた歴史と祈り	中世から近世に造られた石仏・石塔からうかがえる歴史や人々の祈りについてお話しします。
10	古文書から歴史をさぐる	江戸時代の検地帳や人別帳、道中記等を使って古文書を読むおもしろさに触れるとともに、歴史への興味の導入とします。
11	御三卿って何？	御三卿について解説と、幼くして当主となった人の紹介を歴史館の収蔵資料を使って紹介します。
12	黒澤止幾 —寺子屋日記からわかること—	幕末に寺子屋師匠として地域の教育の発展に貢献した黒澤止幾の日記と一緒に読みながら、当時の寺子屋の生活の様子を明らかにしていきます。

13	古地図の読み方 －入門編－	古地図が描かれた背景を探るべく、その見方や活用方法を紹介します。
14	佐藤進「渡洋之記」を読む	日本最初のドクトル佐藤進のドイツ留学時の渡航日記「渡洋之記」を読みときます。
15	茨城のみち －交通網の移り変わり－	茨城県の道路や鉄道を中心とした交通網の変遷について紹介します。
16	日本刀のイロハ	現在、文化財として扱われている日本刀について、その歴史的・美術的な価値と楽しみ方を、体験活動を交えながら分かりやすく解説します。(9月～3月をのぞく)
17	小学校教育資料をよむ	当館所蔵の県内小学校「学校沿革誌」「学校日誌」などを紹介します。(小中学校教員向け)
18	水戸城・千波湖・偕楽園	水戸のシンボル千波湖,偕楽園とともに水戸城について映像を交えて分かりやすく紹介します。小・中学校の総合的な学習の時間に最適です。
19	茨城の仏教美術	県内の社寺に伝わった仏像や仏画を取りあげ、分かりやすく解説します。
20	粋な紋切りあそび －日本の心が見える紋 紋の文化と粋について－	紙を折って型どおりに切り抜くときれいな紋が出来上がる、江戸時代からの粋なあそび「紋切りあそび」。実際に体験しながら、紋の文化を学びましょう。

【活用の方法について】

①お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課までご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

※申し込みから実施まではおおよそ1カ月はみていただきたいと思います。できるだけお早めにお申し込みください。

②経費無料です。講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。

※ 講座担当者の展示作業、調査などのため、お日にちの調整ができない場合があります。ご了承ください。

問い合わせ先

茨城県立歴史館 管理部教育普及課「出前講座担当」
〒310-0034 水戸市緑町 2-1-15
電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277
E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp